周防大島中だより

HP アドレス http://www.sea.icn-tv.ne.jp/~sojhp/

周防大島町立周防大島中学校
２０２３年７月６日
■　第　４　号　■

学校教育目標：ふるさとを愛し、幸せな未来を拓く生徒の育成～自ら考え、判断し、行動する生徒～

充実した42日／365日間を！

いよいよ夏休みが近づいてきました。42 日間の長い休みです。日々成長を遂げる生徒達にとって、一年間の中で占める日数を考えても、この夏休みの重要性は明らかです。この夏休みを「自分の未来を大切にする４２日間」として、生徒には充実した日々を送ってほしいと考えています。この４２日間にはさまざまな『成長のチャンス』があります。学習面、部活動、地域貢献、家庭での役割など、学校と家庭・地域で多くのチャンスを提供し、応援していきたいものです。

一方で、使い方を誤るとそのチャンスを妨げてしまう要因が二つあります。

一つは「時間」です。夏季休業期間中は日頃の学校生活のように時間が明確には決まっていないため、「就寝時間が遅くなる」「起床時間が遅くなる」「日中ダラダラと過ごしてしまう」等が起こりがちです。負の習慣が身に付いてしまわないよう、規則正しい生活を心掛けてほしいと思います。

もう一つは「ＳＮＳ」です。望ましくないかかわりによって被害、加害両面からのトラブルが全国的にも後を絶ちません。決して他人事でもありません。炎上動画のように一瞬で信頼や財産まで奪われることもあります。お子様のとった行動がもとで、保護者の方に責任が問われることもございます。子どもの成長にふさわしい使い方をご指導ください。

この二つの不安要因は、きちんと付き合うことで、生徒を成長させてくれるものにもなり得ます。ご家庭、地域での見守りよろしくお願いいたします。

周防中生として地域にできること

６月２４日（金）に行われた生徒総会では、自分たちにできる地域貢献について意見を出し合いました。「地域清掃を、久賀・橘・東和の３地区で、次世代につながる取組に！」をコンセプトに、夏季休業中に実施する地域貢献活動を設定しました。久賀地区は久賀土曜夜市の後片付け、橘地区は花火大会翌日のゴミ拾い、東和地区は真宮島の海そうじに決まりました。夏季休業中に各地域で周防中の生達が地域のためにさまざまな活動に取り組みます。

その他にも、右表のように地域から周防大島中学校生徒への要請がきています。積極的に地域とかかわり、自分ができる「地域貢献」を行って地域を元気にしてもらうと共に、自分自身も高めてもらいたいと思います。地域の方々、本校生徒の姿を見かけた際には、温かいお声かけをよろしくお願いします。

ボランティア名	月日（曜）	時間	場所
東和小学習支援ボランティア	7月21日(金)	8:30～10:30	東和小学校
	7月24日(月)		
24時間テレビチャリティー街頭募金	7月22日(土)	19:00～20:00	久賀土曜夜市会場
	8月26日(土)	10:30～11:30	Aコープ久賀店等
	8月 7日(月)	11:00～12:00	道の駅サザンセトとうわ
	8月 8日(火)	9:00～10:00	Aコープ安下庄店

＊7/6現在の募集状況です。

「周防大島中 O’hana（おはな）計画実施中！」

周防大島中学校は、ただ今美しい花々で彩られています。校舎内には理科教諭が自宅から持ってきたユリや紫陽花（あじさい）などが飾られています。校舎外には、生徒会環境委員会を中心に植えられたマリーゴールドやサルビアなど、夏を感じさせる花々が咲いています。

学校花壇には、生徒の手で「ミニヒマワリ」が種から植えられ、現在、芽を出しスクスクと育ってきています。今後、皆で協力しながら花いっぱいの周防大島中にしていきたいと思います。

花を育てることを通して、優しい気持ちを育てると共に、地域の方との関わり、「地域を明るく元気にしたい」という思いももっています。近くにお立ち寄りの際は、是非ご覧いただき、お楽しみください。

3年進路説明会

６月２０日（火）に３年生及び保護者を対象に進路説明会を実施しました。近隣の７校にご来校いただき、学校の特色や高校生活の様子などについて説明していただきました。生徒は真剣な眼差しで各校の説明を聞きながら、自分の将来の進路と照らし合わせていました。また、話される“高校が求める生徒像（アドミッション・ポリシー）”から、今の自分たちの努力点をあらためて実感することができました。ご協力いただきました高等学校、高等専門学校の皆様、ありがとうございました。

安心・安全な学校づくりをめざして～避難訓練～

６月 16 日（金）４校時、校内に非常ベルの音が鳴り響きました。

実践的な訓練の必要性を考慮し、サイレント型（実施日のみ知らされ、時間や場所を知らさない）の避難訓練を実施しました。生徒はもちろん、一部の教職員にしか知らされていない中で、概ね安全に避難を実施することができました。挙がった反省点を今後に生かしながら、さらに正確性、迅速性を上げていきたいと思います。

また、消防署職員の方から火災が起こった場合の対処法の説明を受けた後、代表生徒（教員）による消火器を使った消火訓練が行われるなど、有意義な訓練となりました。